



Press Release

オルガノ株式会社
問合せ先

〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8
経営企画部 企画グループ 七海 (TEL.03-5635-5111)

2011年7月25日

第5回オルガノ（水質及び水環境）奨学金の受賞者を決定

当社は2007年より、中国における水環境保全技術の発展に貢献している研究者を対象に、奨学金を通じて支援する事業（通称：オルガノ賞）を行っております。

中国は近年、産業振興と同時に水質汚濁防止政策を強く推進しており、水環境保全技術の研究も活発に行われています。当社は中国科学院生態環境研究センター及び蘇州工業園区と共に、中国における水環境保全技術の研究に携わっている中国在住の大学院生を対象に募集を行い、優秀者を選出・表彰しました。

概要

- 【名称】 第5回オルガノ（水質及び水環境）奨学金（通称：オルガノ賞）
- 【目的】 中国における水環境保全技術の発展に貢献している研究者の支援
- 【対象】 中国在住の博士課程もしくは修士課程の大学院生
研究テーマ：水環境保全技術全般に関するもの
- 【主催】 中国科学院生態環境研究センターおよび蘇州工業園区
- 【賛助】 オルガノ株式会社およびオルガノ（蘇州）水処理有限公司
- 【募集期間】 2011年4月12日～5月31日
- 【選考方法】 選考委員による投票（一次選考：書類審査、最終選考：プレゼンテーション審査）
- 【最終選考】 2011年7月8日 会場：中新生態科技城
- 【奨学金】 一等賞 10,000 元、二等賞 5,000 元、三等賞 2,000 元

今年も中国各地の大学より60名強の応募がありました。最終選考会および表彰式は、2011年7月8日、蘇州工業園区内の中新生態科技城にて行われ、一次選考を通過した12名の中国在住大学院生の中から一等賞（奨学金10,000元）として吳鵬氏（中国科学院生態環境研究センター）、劉麗氏（中国科学技術大学）の2名を選出しました。また、二等賞（奨学金：博士5,000元、修士3,000元）として10名を選出しました。

受賞者

【一等賞（奨学金10,000元）2名】（敬称略）

基礎研究分野 受賞者	劉麗 Liu Li （中国科学技術大学、専攻：環境工学 博士課程）
タイトル	Hydrodynamic Characteristics and Mass Transfer Mechanism of the Aerobic Granular Sludge
タイトル（和訳）	好気性グラニュール汚泥の流体的性状と物質移動メカニズムに関する研究

応用技術分野 受賞者	吳鵬 Wu Kun （中国科学院生態環境研究センター、専攻：環境工学 博士課程）
タイトル	Innovative Technology Development and Application for Large-scale Arsenic Pollution Control
タイトル（和訳）	大規模ヒ素汚染向け革新的処理技術開発と適用

【二等賞（奨学金：博士5,000元、修士3,000元）10名】（敬称略、順不同）
陳川（哈爾濱工業大学）、董志文（中国科学院寒区旱区環境工程研究所）、
黄明智（華南理工大学）、劉猛（大連理工大学）、劉賢偉（中国科学技術大学）、
劉丰色（丰へんに色で一文字）彪（上海交通大學）、唐崇儉（浙江大學）、王麗
（山東大學）、許醒（山東大學）、殷立峰（北京師範大學）

○オルガノ（水質及び水環境）奨学金

近年中国では環境保全を重要視しており、国をあげて取り組んでいることから、本事業は中国において水環境保全技術に携わる研究者の支援を目的に、研究業績を評価し優秀者を表彰する活動として2007年から開始した。

第5回目となる本年度は、中国科学院生態環境研究センターおよび蘇州工業園区が主催し、オルガノおよびオルガノ（蘇州）水処理有限公司が協賛。



開会式の様子
右から、蘇州工業園区管理委員会 黄海涛副主任、
中国科学院生態環境研究センター 曲久輝主任、オ
ルガノ 内田裕行社長、橋本喜代志相談役

対象を中国在住の博士課程もしくは修士課程の大学院生とし、募集テーマは水環境保全技術に関するものとした。また今年から基礎研究と応用技術の2分野に分け、それぞれ募集を行った。

選考は一次選考と最終選考に分かれ、書類による一次選考では優秀な成果を挙げている12名（基礎研究8名、応用技術4名）を選出。最終選考では各学生がプレゼンテーションを行い、選考委員の投票により受賞者2名を決定した。

選考委員は関連分野の専門家により構成され、選考委員長の中国科学院生態環境研究センター曲久輝主任をはじめ、任南琪教授（哈爾濱工業大学）、胡洪宮教授（清華大学）、楊敏教授（中国科学院生態環境研究センター）、王曉昌教授（西安建築科技大学）、張振家教授（上海交通大学）、周琪教授（同濟大学）、韋朝海教授（華南理工大学）、黃勇教授（蘇州科技大学）およびオルガノ開発センター明賀春樹センター長が務めた。

○中国科学院生態環境研究センター

前身は中国科学院環境化学研究所で1975年に設立された。所在地は北京にあり、約300名の研究員が在籍している。中国政府は1996年5月、同センターと国家環境保護総局を環境分野における主管機関に据えた。主な研究分野は環境化学、環境工学、システム生態学などであり、地域的なものから全国的、グローバルな環境問題を研究・解決している。また同センターは、「環境科学学報」「Journal of Environmental Sciences」など国家自然科学重要刊行物と、海外出版物の中国語版の編集・出版なども手掛けている。



一等獎受賞者 吳氏（左）劉麗氏（右）と曲主任（中央）

○蘇州工業園区

蘇州工業園区は、中国とシンガポール両国政府間の合作プロジェクトによって設立された特殊政策の工業開発区。蘇州旧市街の東側にある金鷄湖の辺に位置し、上海から約80km、面積はおよそ260km²。優遇税制政策、外資プロジェクトに対する金額無制限の認可権限、独立する税関と輸出入通関機能等を揃え、高いインフラ整備率、豊富な人材、さらに優れた生活環境と勤務環境によって、IT産業、精密機械、生物製薬、新素材等のハイテク産業が数多く進出している。産業振興と同時に水質汚濁防止政策など環境保全活動も活発に行っている。

当社は今後も中国の水環境保全技術発展に向けた取り組みの一環として、将来性のある研究者の支援を継続して行ってまいります。

以上